

# 備後教区報

第 157 号

2015(平成27)年12月20日

## CONTENTS

- ◇伝灯奉告法要とは？  
～教区内参拝期日一覧～
- ◇連載 戦後70年③
- ◇平和のつどい  
「朗読劇作成にあたり」
- ◇NEWS&活動情報
- ◇予報・インフォメーション

備後教区第20回平和のつどいが福山で開催



# 伝灯奉告法要とは？

専如門主は、平成26年6月6日に法義の伝統を継承し、第25代門主となられました。伝灯奉告法要は、宗祖親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」(法灯)を継承されたことを阿弥陀如来と親鸞聖人の御前に奉告するとともに、またこの法要を機縁として、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、宗門内外によびかけて、一人でも多くの方々に参拝していただくことを期してお勤めさせていただきます。宗門にとつて大切な法要であります。

## 〔伝灯奉告法要期間〕

年	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
2016 (平成28) 年	10月1日(土) ~ 10月8日(土)	10月20日(木) ~ 10月27日(木)	11月4日(金) ~ 11月11日(金)	11月18日(金) ~ 11月25日(金)	3月7日(火) ~ 3月14日(火)	3月28日(火) ~ 4月4日(火)	4月11日(火) ~ 4月18日(火)	4月25日(火) ~ 5月2日(火)	5月9日(火) ~ 5月16日(火)	5月24日(水) ~ 5月31日(水)
2017 (平成29) 年										

※各法要は、1期8日間とし、各日の法要は1日1座(午後) 本山において修行します。

※第1期平成28年10月1日の団体参拝はございません。

※第7期平成29年4月18日は大谷本廟で修行いたしますので、団体参拝はございません。

## <<団体参拝申込み>>

2015(平成27)年10月1日より団体参拝申込受付は開始されております。

9月下旬に全寺院に送付されました団体参拝募集要綱(注1)を参考に、参拝日の6か月前迄には団体参拝申込書にて手続きを行っていただく必要があります。

※申込みの流れ(申込書記入 ⇒ 組事務所へ提出 ⇒ 教区教務所へ提出 ⇒ 参拝センターへ提出)

団体参拝申込みについてご不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせください。

- 宗門伝灯奉告法要団参本部団参部  
伝灯奉告法要参拝センター TEL 075-371-5181 (代)  
TEL 075-371-5060 (直通)
- 備後教区教務所 TEL 084-924-5759



# 備後教区内 参拝期日一覽

	組	参拝団	参拝日	
			法要期	法要期日
1	備中里組	地福寺参拝団	第3期	11月4日
2		本林寺参拝団	第2期	10月22日
3		教善寺・高運寺合同参拝団	第2期	10月27日
4		専教寺参拝団	第10期	5月27日
5		大圓寺参拝団	第4期	11月21日
6		正専寺参拝団	第1期	10月8日
7		慈恩寺・蓮乗寺・報恩寺・浄心寺合同参拝団	第6期	3月31日
8	中組	中組参拝団	第9期	5月12日
9	奥組	奥組参拝団	第6期	3月28日
10	深津組	深津組参拝団	第1期	10月7日
11	鴨川組	鴨川組参拝団	第8期	4月27日
12	鴨川北組	鴨川北組参拝団	第6期	3月28日
13	沼隈西組	沼隈西組第1班参拝団	第5期	3月12日
14		沼隈西組第2班参拝団	第9期	5月16日
15	沼隈南組	沼隈南組第1班参拝団	第1期	10月6日
16		沼隈南組第2班参拝団	第5期	3月10日
17	芦田組	芦田組第1班参拝団	第2期	10月23日
18		芦田組第2班参拝団	第6期	3月28日
19	神石組	神石組参拝団	第5期	3月11日
20	三谿組	三谿組参拝団	第2期	10月27日
21	比婆組	比婆組参拝団	第1期	10月8日
22	三次組	三次組第1班参拝団	第2期	10月27日
23		三次組第2班参拝団	第5期	3月9日
24	御調東組	御調東組第1班参拝団	第2期	10月20日
25		御調東組第2班参拝団	第3期	11月9日
26		御調東組第3班参拝団	第6期	3月31日
27	御調西組	御調西組参拝団	第7期	4月11日
28	世羅組	世羅組第1班参拝団	第1期	10月5日
29		世羅組第2班参拝団	第10期	5月26日
	組	参拝団	法要期	法要期日

# 戦後の復興と教化の歩み

現在の安芸教区と合併して「広島教区」として終戦を迎えた備後教区。1945(昭和20)年8月6日に広島市に原爆が投下され、その2日後の8日には福山市市街地がB-29爆撃機91機によって爆撃され壊滅的な被害を受けた。復興と教化活動、現代からすれば想像を絶する歩みだったに違いない。今回は備後教区の戦後における教化活動の軌跡を追ってみた。

〔戦後70年企画〕教区報専門委員会

## 戦後70 連載 備後教区 の軌跡③

～教化活動を振り返る～

### 教務所転々。八畳一間から

1947(昭和22)年4月、広島教区から分離した備後教区はどうか被災を逃れた現在の教務所近くの寂円寺に事務所を構えた。と言っても八畳一間。1996(平成8)年の『備後教区報』に掲載されている崇興寺の枝廣重雪前住職によると、戦後直後の物資不足でザラ紙にペン書き、印刷もヤスリの上で原稿を書きインクを伸ばして刷る謄写版で、すべてが手作業だったようだ。

当初は11組でスタート。翌年鴨川組が同組と鴨川北組に、御調組が東と西の2つの組に分かれ13組となった。1950(昭和25)年4月には兵庫教区に所属していた

#### 伝道車を導入し機動力を

岡山県の備中里組、中組、奥組が編入して現在の16組となった。

岡山3組にとって、それまでの教務所がある神戸は遠く悲願だったようだ。その後、岡山県寺院連合会として一時、教化活動が行われた時期があるが、独立した岡山県の寺院活動として成就することはなかった。



▲備後の組長 (全国組長会にて)



▶昭和29年大遠忌お待ち受け全国組長会にて

### 昭和23年頃から本格化

教化活動が本格化するの  
1948(昭和23)年頃から。まず、  
現在も続いている「僧侶研修会」  
が開催された。といつても独立し  
た教務所があるわけではなく、教  
区を4、5ヶ所に分けて、毎年巡  
回しての開催。特に福山市内は戦  
災により開催できなかつたとい  
う。こうした状態は実に1969  
(昭和44)年まで、21年の歳月を  
数えるのである。

1948(昭和23)年には、蓮  
如上人450回遠忌法要の年。今



▲ 昭和28年 教区仏青幹部講習会 (三谿組照善坊)



▲ 昭和38年 教区仏青連夏期講習会 (御調束組浄泉寺)

のような旅行社はなく、教務所職  
員が引率して三次駅から団体臨時  
列車を編成して約400人が参拝  
したという。

その後、本山参拝は1953(昭  
和28)年に証如上人400回忌・  
戦没者追悼法要、1958(昭和  
33)年宗祖700回大遠忌予修法  
要、1961(昭和36)年には宗  
祖700回大遠忌法要、1998  
(平成10)年の蓮如上人500回  
遠忌法要、そして歴代上人遠忌  
伝灯奉告法要、宗祖750回大遠  
忌へと歩みを進めてきた。

## 仏青と仏婦活動、復興に力注ぐ

なお、本願寺念仏奉仕団は  
1953(昭和28)年ころから始  
まり、当時は本山まで行つて清掃  
奉仕をする人がいるのだろうか、  
と懸念されていたという。

数ある各種教化団体だが、  
1951(昭和26)年頃から本山  
においても仏教青年会、仏教婦人  
会の活動の復活が重点的に行われ  
るようになった。

1952(昭和27)年9月、第  
1回備後教区仏青幹部講習会が福  
山で開催されている。以後、毎年  
の講習会開催、全国仏青大会への  
参加など通じて仏青活動が盛り上  
がり、1963(昭和38)年には  
中国地区仏青大会・講習会を引き  
受け尾道市で開催。

1970(昭和45)年には中国  
四国地区真宗青年の集いを福山  
市・光善寺で開催している。

仏青同様に力が注がれたのが  
仏婦活動の復活だが、戦後から  
1952(昭和27)年頃までは活  
動停滞していたようだ。

備後教区寺族婦人会の結成は  
1943(昭和18)年頃にはすで  
に結成されている。



▲ 昭和44年 教区寺族婦人会北部 (比婆組勝光寺)



▲ 昭和45年 真宗青年の集い (深津組光善寺)

1954(昭和29)年には第2回中国四国地区仏教婦人大会を備後教区が当番開催している。

1956(昭和31)年には当時の裏方・大谷嬉子総裁を迎えて会員増運動研修開催している。平成3年に雲仙普賢岳火砕流災害をはじめとする阪神・淡路大震災などの救援を活動として募金活動な

ど展開している。

平成7年には教区仏婦連盟結成40周年記念事業で本山へ参拝している。現在の教区仏婦の活動の主なものは本山・連区行事では総連盟総会・幹部研修、中・四国地区仏教婦人会大会、同地区若婦大会、同地区仏教婦人会連絡協議会、若婦中央研修会など。教区行事では総会と幹部研修、お寺で子育てセミナー、仏婦実践運動研修会(寺婦合同)、仏婦会員研修、ほへみ講座、役員研修、教堂常例法座参拝&清掃奉仕など。

現在、備後教区の教勢は広島県東部・岡山県西部16組261寺院。教堂常例布教は毎月11日、深津組常例布教が5日から10日までで教区布教団が担当している。

仏壮連盟(64単位)、仏婦連盟(153単位)、寺族婦人連盟、少年連盟(44単位)、保育連盟(12単位)で「全寺院にキッズサンガ」やスカウト、ビハーラ活動などが行わ

れている。

ここに到るまでの教区の足跡をまとめると、次のようになる。

昭和29年秋に府中市・明浄寺へ教務所が移転。同30年教区仏教青年連盟を結成。同32年、会館常例布教が始まった。同37年、教区内各地で宗祖700回大遠忌が営まれるようになり、より教化の実を上げるために機動力として教区初の伝道車が導入された。昭和35年



昭和41年 教区仏婦幹部研修(世羅組西教寺)



▲勝真布教団 (昭和35年)

### 北部と南部で有志の会

に布教グループ「勝真会」が発足。

昭和40年代に入ると、現教区報の前身『備後』を発刊。41年に北部青年僧侶の会「白鶴会」が発会。教区北部の兼職を除く若手僧侶により、現代社会に対応する総合的教化活動が目的。布教、教材開発、出版、研修旅行、少年教化、支援活動、講演やセミナー、テレホン法話など広範な活動を行い、インド仏蹟巡拝などから現在のダーナインターナショナルの活動へと発展している。



▲備後教区伝道車



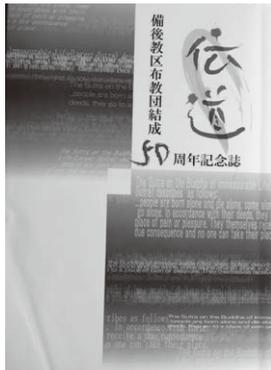
▲昭和30年 仏青連合会結成記念大会 (世羅組法泉坊)



▲昭和43年 良い子のキャンピング (世羅組照光寺)



▲平成2年 世界仏婦大会 (バンクーバ)



※記事、写真資料 仏教婦人会 30周年記念誌、50周年記念誌(上)、布教団50周年記念誌(左)等

一方、南部では、50歳までの教区内青壮年僧侶を対象とした「備龍会」が昭和41年春に発会した。目的は相互親睦交流。諸問題に対応し、研修、教法弘通、相互発展など。事業は講演・研修会、宗門事業への参画、みどり煎餅なども販売。難民支援や災害被災地でのボランティアなど展開している。

昭和42年、現在地に200坪の土地購入。昭和44年に備後会館落成した。46年、旧会館が完成した。46年3月、前進座「親鸞」(吉川英治著)を福山で上演

昭和50年代に入ると、教区初の女性布教使が誕生し、同年、教区大会特別布教大会を開催。この頃から「同朋運動」始まる。52年、第24代即如門主が法灯継承。58年、現在の本願寺備後教堂(当時は「本願寺備後会館」)が完成。59年4月19、20日に即如門主を迎えて御親修で落慶法要。58年、「過去帳差別記載」をめぐる部落解放同盟広島県連と安芸・備後両教区で「糾弾学習会」始まり、63年、「同朋三者懇話会」立ち上げた。平成に入ると、3年、若手布教使の会「音和会」発足。7年1月17日、阪神・淡路大震災。10年、



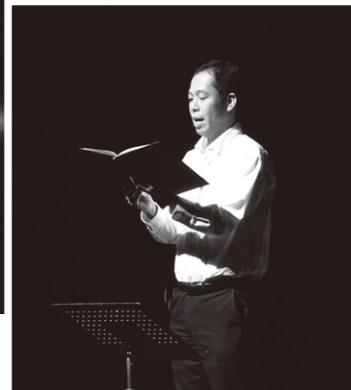
▲昭和40年に発行された教区報創刊号

# 読者の 投稿 寄稿

10月7日 平和のつどい

## 「朗読劇作成にあたり」

兄を原爆で失った空襲体験者が自衛官を志す  
孫の大学生に問いかける約25分の朗読劇



### 映像上映について

第20回平和のつどいを開催するにあたり、終戦70年、第20回という節目の年に、会場を福山でという話が提案された。地元福山では1945年(昭和20年)に大空襲により、死者354人、重軽傷者864人、焼失家屋10179戸、という多くの尊いのが犠牲となった。戦争体験者の高齢化により、戦争の記憶が風化しつつある現代において、戦争の悲惨さ、平和の尊さを参加者の皆さんと共有出来ないかということで、当時の福山の映像を映し出しながら、朗読劇を行うことが決定された。

### 朗読劇作成について

福山市民団体「みらい座」(代表・大元光代さん)では、2011年(平成23年)から平和の大切さを訴えるために「福山空襲の記録」をもとに分かり易く朗読劇化し、子どもたちと共に読み・語り継ぐとステージを開催されていることを知った。代表である大元光代さんに連絡したところ、本人は交通事故に遭われ3年前より寝たきりになり公演は中止の状態であると大元正義(まさよし)さん(ご主人)より聞き、ご主人に許可を得て、台本や資料等を借用した。

### 朗読劇内容について(実録)

福山の空襲では福山市街地の約80%を焼失。当時の国宝・福山城天守閣などの貴重な文化財も焼失した。この様子を後世に伝えよう、と「福山空襲を記録する会」は『福山空襲の記録』『続 福山空襲の記録』を発刊した。

「福山空襲を記録する会」の代表・岡田智晶さんに朗読劇作成の意図をご理解頂くために、直接お会いし、戦争当時の話しや経験談等を聞いた。『福山空襲の記録』に掲載されている実話を朗読劇の中に取り入れたいという思いを快く承諾して頂き、実話を元に作成していくこととなった。

### テーマ「尊い犠牲ってなんだろう」について

「尊い犠牲の上に今の平和が築かれた」という言葉に対しての問題提起です。尊いのは犠牲ではなく、尊いのはひとりひとりのいのちであり、国によって人の死に意味付けをされ、国によって戦争を美化される危険性を含んだ言葉でもあるように思う。安保法案が審議されていた当時(平和のつどい当日はすでに法案は可決)、この言葉が再び繰り返される時代がやってくるのではないかと危惧しながらテーマを決めた。

### 雄介「自衛官になりたい」について

組連研の話し合い法座に於いて、安保法案(集団的自衛権等)について話し合いをもった。アメリカとの同盟関係、沖縄県の尖閣諸島で中国との関係、北朝鮮との関係など、日本をとりまく安全保障の環境について皆さん知識は豊富で多くの活発な意見が述べられ、大半の方が今の状況であれば可決は仕方が無い事、という意見が多く聞かれた。そこで一つ質問をした。「皆さんの子どもや孫がもし自衛官になりたいと言われたら、どうされますか？」すると、今までは違い、歯切れの悪い話し合いになった。

ある人は、「それとこれとは別問題」「子どもが、どうしてもというのであれば危険地域に出勤しない部署に所属させる」など今までの意見とは違い歯切れの悪い話し合いになった。

新聞・ニュースなどマスコミからの情報で多くの知識はもっておられました。が、わが事となると、評論家であってはならない。私への問いかけという視点で朗読劇を作成しました。



### 作成スタッフについて

出演・作成に当初より携わって頂いた備龍会の若手の僧侶の皆さんと集団的自衛権・自衛隊・平和・戦争等色んな話し合いが出来たことが一番の成果であったように思いました。

### 反省

風化しつつある戦争の悲惨さを伝えていく平和のつどいであるならば、若い方へのアピールも大切ではないか。そうであれば、曜日等の開催日程の検討が必要であるように思いました。

(朗読劇製作委員会)



## 第20回平和のつどい

10月7日、備後教区平和のつどいが福山リーデンローズ大ホールにおいて、教区内外の僧侶や門信徒804名の参加をいっただいて開催。過去の反省と学びのなかに平和への思いを新たにしました。

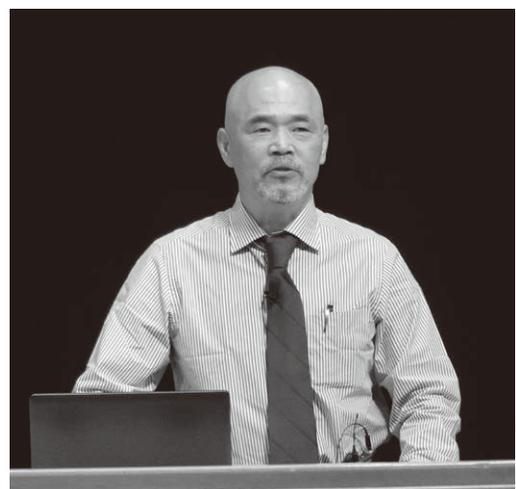
平和のつどいは戦後50年の節目に始まり戦争時における過去の事実を慚愧し、平和な社会を築いていくべく、お念仏の心を伝え拡げる取り組みとして始まったもので、今年には戦後70年で第20回を迎えた。

冒頭の全戦争犠牲者追悼法要では、野川大卓教務所長による導師のもと、教区内の各組長、16組32名の僧侶が出勤してみんなで正信偈のおつとめを行った。そのなかで兵隊や武器は無用であるという仏説無量寿経の「兵戈無用」の一説も唱えた。

開会にあたり、野川所長は「また再び戦争の足音が近づいているのではないか」と懸念を示して、つどいの意義を訴えた。

次に「尊い犠牲つてなんだろう」というテーマで作成された朗読劇を上演。

また、「憲法9条の平和力」を題に講演した元陸上自衛官・泥憲和さんは、戦争放棄を理念とした日本の民間人による紛争地域での支援活動が現地に和平をもたらした事例を紹介し、「軍隊を送り込んで戦争が終わったことはない」と指摘。また、安全と思われがちである民間の後方支援こそ最



▲講師の泥 憲和さん

も狙われやすく死傷者が多いことも語って、真宗門徒の一人として大切に思う教え「兵戈無用」を強調した。

法話担当の佐々木至成・本願寺派布教使は、「兵隊も武器も用いないという仏の願いを、わが願いとして生きていくことが大事」と説いた。

閉会にあたり、つどいに参加者した全員で「戦争は仏さまの教えに背き、人間のいのちをふみにじる罪悪」とする、アピール文も採択した。

またこのたびのつどいに合わせて、教区では、戦争に協力した宗派の歴史をあらためて反省する趣旨で、教区内の寺院にのこる戦争時の資料を収集。戦争との関わりを写真で検証した冊子「世のなか安穏なれー70年前の実相ー」を作り、参加者と教区寺院に配布した。

# いま門徒総代として

【門徒総代会】教区門徒総代会(河原幸造代表)では、二会場に分かれ、10月29日に三谿組正法寺(小武秀道住職)、30日に沼隈南組光照寺(季平康住職)において総代及び住職がつどい、門徒総代研修会を行った。講師の藤井邦磨・大分教区速見組正善寺住職より、「私は総代?今でしょ!」を講題に、総代の役割や、今なすべきことなどについて具体的例話を踏まえつつ、社会に必要とされるお寺づくりについて熱弁された。また、先般、本願寺出版社からは「門徒総代として」という総代教本が出版されたこともあり、総代方には



▲ 藤井 邦磨 仏壯専任講師

お寺を支える第一線として益々の活躍が期待される。



▲ 29日会場 (正法寺)



▲ 30日会場 (光照寺)

# 神戸・姫路に研修

【布教団】8月24日~25日、布教団では2年に1度の研修旅行を行い、研修と親睦をかねて神戸・姫路を訪れた。

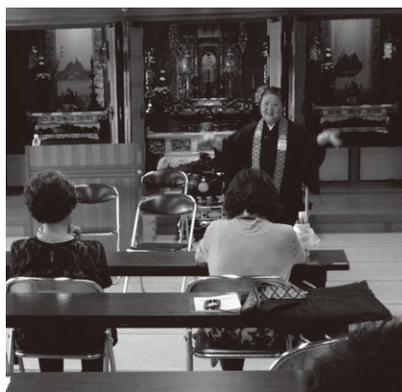
初日は姫路城の観光の後、亀山本徳寺を参拝し、住職よりお話を伺った。翌日、研修で訪れた神戸別院では、副輪番対応のもと、太平洋戦争中の神戸空襲による被災の話や、阪神淡路大震災での被災者について聞かせていただいた。終戦70年の節目に、2日間の有意義な研修となった。



# ビハーク研修協議会

【ビハーク】去る9月17日(木)本願寺備後教堂にてビハーク備後研修協議会を開催した。

講師に京都教区呉竹組興禅寺藤澤めぐみ住職をお招きし、「ねえ、ねえ、聴いて聴いて!」その想いを聴けていますか?」をテーマに午前中は講師による講義・午後からはワークショップを行った。



# 「布教団特別布教大会」が三次で開催

【布教団】9月14日、布教団特別布教大会が三谿組善徳寺(長谷川憲章住職)において開催され、多数の門信徒が参拝する中、6人の布教団員が出講した。出講者は次の通り(敬称略)

- 田坂 英尊 (芦田組慶照寺)
- 深水 顕真 (三次組正正寺)
- 田井 智彦 (備中里組蓮乗寺)
- 佐々木 弘海 (鴨川北組照専寺)
- 天地 秀顕 (沼隈南組光林寺)
- 平山 義文 (副団長 深津組光榮寺)

## 寺婦研修で山口へ

【寺婦婦人会連盟】9月28日、29日、寺婦連盟(佐々木和子委員長)では、2年に1度の研修旅行を行い、18名が参加した。

今回は、戦後70年にあたる年の研修として、山口県周南市の「回天記念館」を訪れた。記念館には、太平洋戦争中に開発された魚雷型特攻兵器である「回天」に乗って亡くなった若き搭乗員たちの遺書や軍服、写真など、数多く展示されており、戦争の犠牲になった尊きいのちについて考えさせられた。また、翌日は山口教区大島組の荘厳寺(周防大島町)に参拝。住職の法話を聴聞した後、副住職が仏教讃歌によるオリジナルコンサートを披露してくださった。

また、事業として、島内ですれた果物等からできるジャムを販売する「ジャムズガーデン」を運営しており、店内は多くの観光客でにぎわっていた。

今回は、研修も有意義であったが、バスでの移動中に仏教讃歌を歌ったり、ゆつくりと温泉に入ったりと、参加者同士の親睦が深まった二日間であった。

## 仏婦・寺婦合同による実践運動研修会

【仏教婦人会連盟】10月16日、仏婦連盟(宮丸こずえ委員長)と寺婦連盟(佐々木和子委員長)合同にて実践運動研修会を開催し、仏婦47名、寺婦38名が参加した。

午前の部では、藤井義英・教区事業推進委員会・門信徒部会部長が講義して、「戦後70年教化を振り返る」と題して、戦後から現在にかけての教化団体の組織形成を映像で振り返った。

数々の困難を乗り越えてきた教化団体、聞法団体の歴史と、先人たちのご苦労を知ること、今後の活動のエネルギーとなることであろう。

午後の部では

駒沢勝(こまざけ)



▲「戦後70年 教化を振り返る」



▲駒沢 勝院長「あみださまと私」

わ小児科院長)が「あみださまと私」と題して講義をした。小児科医として医学の限界を肌身で感じる中、医学では解決できない人間の苦悩に対し、唯一乗り越えることのできる道がお念仏の教えであると、熱のこもった口調で講義し参加者を惹き込んだ。

物品販売コーナーでは、東北地方から仕入れた焼き菓子や塩、またまんじゅうなどが販売され、東日本大震災被災者支援が継続して行われた。

## 教区月報

8月	11日	教堂常例法座
	19日	第10回真宗講座
	19日	ビハーラ備後実践学習 (花の里病院)
9月	2日	懇志調整委員会
	8日	おつとめ教室
	8日	勤式練習会
	9日	平和のつどい実行委員 全体会
	10日	キッズサンガ推進委員会
	10日	キッズサンガサポーター 連絡協議会
	11日	教堂常例法座
	14日	特別布教大会
	16日	門信徒部会
	17日	ビハーラ備後研修協議会
	17日	ビハーラ備後役員会
	28日	寺婦婦人会研修旅行 (29日)
30日	30日	同朋社会部会
		過去帳問題に取り組む テキスト学習会

## 連研履修者のつどい

【連研】11月6日(金)庄原市西楽寺を会所に平成27年度備後教区連研履修者のつどいを開催した。県北の庄原市・三次市を中心に33名の方にご参加いただき、「あなたに伝えたいことがあります」門徒推進員への道」をテーマに兵庫教区神戸湊組宝球寺・鷲尾衛鳳連研中央講師による講義や門徒推進員による体験発表、3班に分かれての話し合い法座を行った。この度参加いただいた連研履修者、又は現在連研を受講中の方に中央教修受講を奨励していく意義ある研修会となった。

「あなたに伝えたいことがあります」  
～門徒推進員への道～



会場の西楽寺にて「話し合い法座」



## 「青年のつどい」に備後から多数参加

【青年】去る10月24日～25日、1泊2日の日程で「中・四国ブロック真宗青年のつどい」が山口県の周防大島にて開催された。中学生から社会人まで総勢58名、うち備後教区からは23名での参加となった。1日目は「お寺と地域を結ぶ里山資本主義」というテーマで株式会社・瀬戸内ジャムズガーデン代表の松島匡史さんに講演いただき、その後山口教区大島組荘厳寺副住職白鳥ちあきさんによるミニコンサート、夜はバーベキュー、夕食会&花火で参加者と親睦を深めた。2日目はみかん狩りをして昼前に全日程を終了した。はじめて参加した方も最初は緊張した様子だったが、日程が進むにつれほかの教区の参加者と談笑したり、最後には「また来年も会おうね!」と来年度山陰大会での再会を約束していた。教区として仏青が下火となっているが、この度の参加者を中心に今後仏青活動を盛り上げていきたい。



Jam's Garden & Farm 代表の松島さん  
(前ページの寺婦研修旅行も参照)

30日	13日	13日	11日	10日	6日	11月	30日	29日	28日	27日	23日	16日	14日	11日	9日	9日	7日	10月	30日
備後教堂報恩講	勤式練習会	おつとめ教室	教堂常例法座	ビハーラ備後実践学習 (寿園・相扶園)	連研履修者のつどい (比婆組 西楽寺)	連研履修者のつどい	門徒総代会研修会 (沼隈南組 光照寺)	門徒総代会研修会 (三谿組 正法寺)	門徒総代会研修会 (藤江荘)	ビハーラ備後実践学習 委員会	仏婦中四国大会小実行	仏婦寺婦実践運動研修会 法務専門委員会	サイクリング現地視察	キッズサンガしまなみ	教堂常例法座	勤式練習会	おつとめ教室	第20回教区平和のつどい	組長会

## おつとめ教室

【法式】教区では藤田徹信勤式指導員より、僧侶を対象にした勤式練習会を行なっているが、今年から門信徒を主な対象とした「おつとめ教室」を備後教堂で開催している。全9回の予定で、現在は7回目を迎えた。おつとめの仕方やお仏壇のお飾りなどの仏事作法を学ぶ内容で、はじめての方でも親しみやすいと好評だ。

### 今後の予定

- 2月10日(水) 「おつとめ教室(第8回)」  
讚仏偈・重誓偈・阿弥陀経
- 「勤式練習会」  
無量寿経作法
- 3月4日(金) 「おつとめ教室(第9回)」  
まとめ・復習
- 「勤式練習会」  
五会念仏作法

## しまなみサイクリング

【キッズサンガ】キッズサンガ推進委員会(福岡真也委員長)は、中学生以上の少年少女へのご縁づくりの一環として、尾道から今治をつなぐしまなみ海道サイクリングを企画し、そのため10月14日(水)に現地視察・体験を行なった。ここ数年「しまなみサイクリング」は世界的にも人気スポットの一つであり、教区内でも広い世代に興味が高く、リピーターも多い。現地視察は今回とあわせて既に2回行っており、全長(片道)約75kmのコースを実際に走った委員によれば、「最初は不安だったが、最後まで行けた」「景色もキレイで、思ったよりも楽しかった」と好感触であった。委員会はリスクマネジメントを含めて今後も情報収集していき、実際に走る距離や行程時間などに無理のないように検討していく所存だ。



## 備後教区 真宗講座

期日 (11回) 12月24日(木) 法界身義ほっかいしんぎ ～仏さまとは何か～  
 (12回) 2月22日(月) 三法四法さんぼうしほう ～お念仏の教えの表し方～  
 会場 本願寺備後教堂 講師 安方哲爾 先生

## 備後教区 僧侶研修会

期日 2016(平成28)年2月9日(火)  
 会場 御調東組 照源寺  
 講師 勸学 内藤知康 「念仏者の実践」

## 第25代専如門主 備後教区ご巡回 並びに備後教堂ご巡拝

期日 2016(平成28)年5月25日(水)  
 会場 本願寺備後教堂

## 第60回 中四国地区仏教婦人会大会

期日 2016(平成28)年8月24日(水)  
 会場 コンベックス岡山

## 教堂常例法座出講者

1月 「手をあわせて何を考えてますか?」  
 藤間 幹夫 (福山市光明寺)  
 2月 「仏縁に遇う」  
 山下 瑞円 (高梁市浄福寺)  
 3月 「人は死んだらどうなるの?」  
 平山 義文 (福山市光榮寺)

(敬称略)

# 教区行事の予定

- 1月
- 08日 寺婦役員会
  - 11日 教堂常例法座(藤間幹雄)
  - 19日 ビハーラ備後役員会
  - 21日 後期勤式研修会
  - 28日 布教団役員会
  - 29日 広報伝道・専門委員会合同会議
- 2月
- 08日 同朋三者懇話会(備後教堂)
  - 09日 備後教区僧侶研修会
  - 10日 おつとめ教室
  - 10日 勤式練習会
  - 11日 常例法座(山下瑞円)
  - 15日 常備会
  - 18~19日 第8回勸学寮真宗講座
  - 20日 お寺の子どもをつどい
  - 22日 第12回真宗講座
  - 23日 自死を考える研究会
  - 26日 布教団実践運動研修会・総会
- 3月
- 04日 ハンセン病の差別と現実に学ぶ  
現地学習会
  - 04日 おつとめ教室
  - 04日 勤式練習会
  - 11日 常例法座(平山義文)
  - 13日 ほほえみ講座
  - 14日 組長会
  - 17日 定期教区会
  - 25日 実践運動教区委員会総会  
事業推進委員会全体会
  - 29日 備龍会ソフトボール大会
  - 31日 キッズサンガしまなみ  
サイクリング

## 得度許可

おめでとうございます  
ございます

〔敬称略〕

備中里組 正専寺

水津智昭 (釋智信)

深津組 専明寺

原田尚美 (釋美称)

(平成27年7月30日付)

三次組 眞楽寺

迫田祐真 (釋祐真)

(平成27年8月11日付)

深津組 光蓮寺

杉野文規 (釋文観)

深津組 光蓮寺

杉野光恵 (釋光恵)

(平成27年9月15日付)

## 教師授与

おめでとうございます  
ございます

〔敬称略〕

沼隈南組 光源寺

北山祐誓 (釋祐誓)

比婆組 正専寺

小滝世雄 (釋世雄)

(平成27年8月28日付)

## 敬申

お悔やみ申し  
上げます

〔敬称略〕

神石組 正善寺 前任職

熊原卓史 (10月10日寂)

沼隈南組 光源寺 衆徒

田坂晃由 (11月30日寂)

奥組 正善寺 前坊守

平岡和枝 (12月14日寂)

「教区報」の編集にあたり、皆様のご意見  
やご感想、情報の提供をお待ちしています。  
教区報専門委員会まで、ご一報ください。

TEL (084) 924-15759  
fax (084) 931-93623

## お坊さんステーション

インターネットでのラジオ視聴方法

■ <http://fm777.co.jp/pc/index.html>

■ 上記ホームページの左上「ウェブラジオ」をクリック

■ 画面切り替わって中央の「映像スタート」をクリック

※ラジオ放送時間をご確認ください。

※動画は固定カメラでの映像です、基本は音声放送です。

放送時間

月曜…午後6:10頃

木曜…午後6:10頃

FM77.7MHz FM77.7MHz  
Radio BINGO



▲表替えされた本堂の畳。い草の香りが一階ロビーまでひろがっています。

教堂修繕工事報告  
現在、備後教堂の修繕工事  
を行っています。駐車場、  
畳の表替え、講師部屋の壁  
の塗り替え…。すべての修  
繕が終了しましたら改めて  
ご報告いたします。

## 教堂報恩講が厳粛に

【教堂】11月30日、本願寺備後教堂報恩講法要が教区内関係各位の協力のもと、138名の参拝者と共に親鸞聖人の御遺徳を偲びつつ、厳粛かつ盛大に勤修された。

朝の日中法要は「奉讃大師作法」連夜法要には「広文類作法」がひとつとめになり、今年も備中里組・鴨川組より内陣出勤あり、朝には若手有志の出勤もいただいた。講師には北海道教区空知北組西林寺の小林義教住職に「生きるよろこび」と題して法話いただき、お念仏のよろこびを聴聞した。又、ポーモリーズによる仏教讃歌や、僧侶褒章授与式が行われた。



### 平成27年僧侶表彰者名簿

(敬称略)

#### 住職在職30年表彰

- |      |     |      |
|------|-----|------|
| 中組   | 徳善寺 | 後谷唯史 |
| 中組   | 南林寺 | 瀧本豊文 |
| 中組   | 光福寺 | 釋圍義證 |
| 中組   | 辻之坊 | 杉原顕正 |
| 深津組  | 誓蓮寺 | 武良雄  |
| 鴨川組  | 浄光寺 | 小林章三 |
| 鴨川組  | 西蓮寺 | 宮行信  |
| 三次組  | 善照寺 | 安部恵証 |
| 御調束組 | 青松寺 | 中野俊彦 |

#### 住職在職50年表彰

- |     |     |      |
|-----|-----|------|
| 三次組 | 蓮光寺 | 桑名凌雲 |
|-----|-----|------|

#### 僧侶90歳表彰

- |      |     |       |
|------|-----|-------|
| 備中里組 | 教善寺 | 千葉明雄  |
| 沼隈西組 | 浄泉坊 | 大迫清次郎 |
| 沼隈西組 | 正圓寺 | 石川伸子  |
| 三谿組  | 立泉寺 | 一條ヤエコ |
| 世羅組  | 興學寺 | 覺王地義昭 |



今年も全国別院巡拝や真宗10派本山報恩講スタンプラリーも開催



時折、書き留め  
ている中国新聞の  
「天風録」を読み

返している、アニメ「サザエさん」の父波平の声を演じてきた、声優の故永井一郎さんに関する記事があった▲世界一の長寿アニメ番組と言え「サザエさん」。1946(昭和21)年に、4コマ漫画として新聞連載が始まった。6477話に及ぶ。テレビアニメとしてスタートしたのが1969(昭和44)年。以来、今日まで続いている▲私自身子どものころから観ていた。しかし磯野家は、家族の誰も年を取らない。父親の波平の年齢は推定53歳だそう。放送開始時は大正生まれだったが、今では戦争を知らない世代になっている▲先日、久しぶりに「サザエさん」を観ると、磯野家の何人かの声が変わっていた。46年間、波平の声を演じてきた永井一郎さんは昨年亡くなられた。時代背景が移り変わっていく中で、永井さんは「無理に時流に合わせるよりも、どんな時代にも通用する父親を表現しよう」との思いを吹き込んでこられたそうだ▲右往左往している今の私に、「バカモン」というセリフがどこからか聞こえてきそうだ。(K・K)